



WiseNET 2010.9

< 新 気になるよそ様の数値 - 営業キャッシュフロー (X7) - >

今回は営業キャッシュフロー(X7)です。この指標は、絶対的力量指標で、計算式は以下の通りです。

$$\text{営業キャッシュフロー(X7)} = \text{営業キャッシュフロー} / 1 \text{ 億円 (2期平均)}$$

営業キャッシュフロー

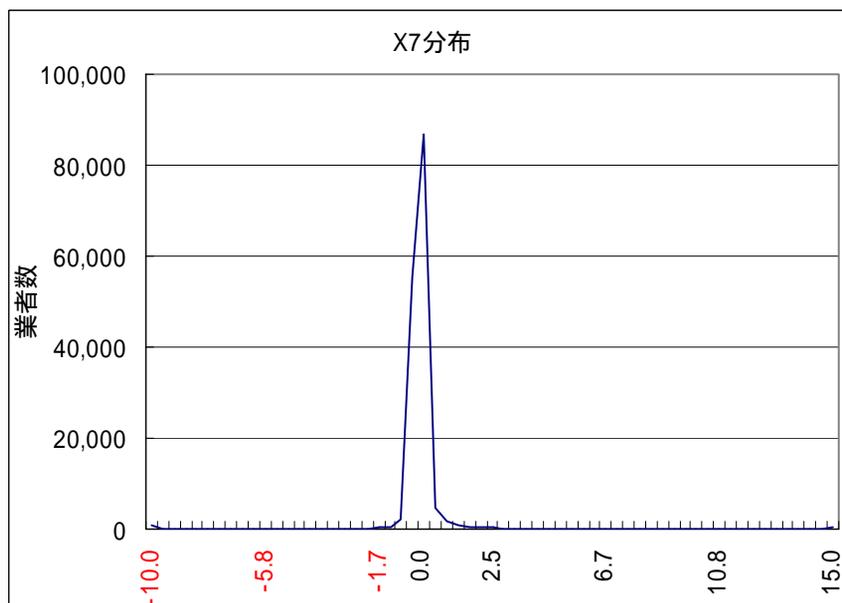
= 経常利益 + 減価償却費 ± 引当金増減額 - 法人税住民税及び
事業税 ± 売掛債権増減額 ± 仕入債務増減額 ± 棚卸資産増減額
± 受入金増減額

この指標は、営業活動により獲得したキャッシュフローの大きさを1億円単位で示した指標です。この指標は大きいほどよいことになります。

上限値は15.0、すなわち15億円で、下限値は-10.0、すなわちマイナス10億円です。Y点への寄与度は5.7%と高くはありません。しかし、Y点の配点は1,802点(Y点の最低点 207点から最高点 1,595点の点数幅 実際の配点は、0点から 1,595点)のうち、およそ343点(配点割合 19.0%)と大きくなっています。

下のグラフは、営業キャッシュフロー(X7)の分布図です。全体が0付近に集中している状況がよく分かります。2009年10月時点では、156,978社中、86,994社およそ55.4%が0付近となっています。決算はマイナスにたくないという気持ちと大きく利益を計上することの難しさが表れています。

< 営業キャッシュフロー(X7)の分布図 平成21年10月31日
156,978社 >



次に、完成工事高の階層別の点数(下の表)を見ますと、全体の88%は完工高5億円未満で、営業キャッシュフローの平均は、完工高5億以上10億未満で、2,580万円、完工高1億以上5億未満で、820万円、完工高0.5億以上1億未満で250万円となっています。完工高0.5億未満では、マイナスになっています。この指標で点数を獲得する難しさが感じられます。

もっとも、この指標では、1億円増えて、Y点が13.72点、1千万円ならば1.372点上がる計算になりますので、小さな会社はあまり気にする必要もないようにも思われます。

< 完成工事高別平均点 営業キャッシュフロー(X7)
167,696社 >

完成工事高	平成22年4月16日現在
全体	0.106
100億以上	4.980
50億以上	2.635
20億以上50億未満	1.379
10億以上20億未満	0.596
5億以上10億未満	0.258
1億以上5億未満	0.082
0.5億以上1億未満	0.025
0.5億未満	0.068

データは公表されたものを集計したものです。

「経審」のキャッシュフローの計算は、営業段階で判断しますので、例えば、減価償却資産を取得して減価償却すれば、減価償却費はプラスされますが、減価償却資産の取得は、投資活動によるキャッシュフローのため、マイナスされません。一方、機械をレンタルしたのでは、レンタル料はプラスされません。7月の中央建設業審議会で示された経審の改正案では、「建設機械の保有状況」が社会性等(W)で加点項目になるようです。自己の財務内容から見て、取得がよいのかレンタルがよいのか考えてみましょう。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要
FAX送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

TEL

FAX